いわき民報

平市田町四八 電三八一
編輯兼發行人兼印刷人 千輝克巳
日刊 但月曜を除く
定價一月卅五円 一部一円三十錢
發行所 いわき民報社

女子事務員募集
高女卒業以上の學歴を有し年令二十五才に滿たざる者
但し平市內在住者に限る
採用 二名
◇希望者は履歴書持參來社されたし
いわき民報社

飯野村にまた凱歌
麥供出もトップ切つて完遂

飯野村では縣下のトップを切つて二十九日割當の大麥七百七十九俵小麥百十二俵の供出を完遂した、同村は先に馬鈴薯の供出も十五貫入り八十九俵の超過供出を郡下にさきかけて完遂している

麥とイモの輕減量振分け
あす郡食調委員會

郡食糧調整委員會は明三十一日午前十時から平市公會堂日本間に開き郡下の事前割當量が縣食調委員會によつて麥一萬三千七百十三石を一萬一千六百十四石に、また馬鈴薯事前割當量八十九萬貫を八十萬七千貫へそれ〲修正供出量として通知あつたのでこの輕減量をいかに市町村側へ振わけるか協議する 郡下の減收の激しかつた町村は麥作では小名濱、錦、勿來などの煙害地と山間部のえ果樹園あとに轉作した地方の干魃などがあげられており 馬鈴薯作は收獲に降雨が多かつたので腐れ薯が續出しており殊に山間部のベト病による減收が甚しい

全石縣本部 低品位炭の對策
近く猛運動を

全石炭福島地方本部の低品位炭對策委員會初會合は三十日午前十時から平勞働會館に開き炭勞常磐支部の對策委員會とも共同斗爭することを申し合せ芦田式外資導入による國外炭高價買入には徹底反對すると共に目下の對策には低品位炭礦への資材並に設備資金融資實現のため近く具体案をもつて實現運動を展開する事になつた

各委員構成決る
東部石復常任幹事會

東部石復常任幹事會は二十九日午前十時半から石炭會館に開き 生產、勞務、調査三專門委員會並に低品位炭對策委員會、電力對策、主食並物資對策・保安並衞生對策等各委員會構成 その他主食物資配給問題で全石復からの要望事項に關して國炭礦管理委員會が先に商工大臣へ要望書を提出したところ勞務加配主食並に炭礦勞務者向物資の配給は各山元の實情に副つて炭礦の特性を活かす方向に結論された旨告があつたので商工大臣に對し東部石復として感謝文をよせることにした 三專門委員會等の構成は左の通り

△生產委員長一名 委員＝勞組側五名 經營者側五名 △勞務委員長一名 委員＝勞組側五名經營者側五名 △調査委員長一名 審員＝勞組側二名經營者側二名事務局若干名 △低品位炭對策委員會組合側八名（炭勞五名全石三名）經營者側八名 △電力對策委員會組合側五名 經營者側五名 △保安衞生對策委員會勞組側六名經營者側六名

なお主食物資對策委員會の件は後で協議することゝし以上の委員ゝ選は來月四日までに行う事又低品位炭並電力對策委員會は四日初委員會を開く事を申し合せた

組合側から要望を手交

常磐炭礦の運營協議會は二十八日開かれ、組合側の要望事項を會社側に手交し 次回は八月三日開く事になつた

榮冠目指して 磐高けさ出發
生徒應援團派遣に 本社卒先千圓寄附

全國高等學校野球大會本縣豫選會に見事優勝した磐城高校の選手一同は八月一日から引續き行はれる東北大會の榮冠を目ざし意氣軒昂三十日午後八時三十分平發列車で福島へ出發した

磐高校友會並に野球關係先輩は磐高の必勝を期し選手激勵のため同校生徒の應援團を送ることになり一般から寄附金を募集しているので地方野球獎勵のため、本社は卒先賛意を表し壹千圓寄贈した

稻作は豐年型
郡下は約十八萬石か

石城地方事務所の本年度稻作見透しでは約十八萬石とみており前年度に比らべると一萬石多く豐年型というわけ 今年は割合水稻の分けつが少くなつている 但し此の豐年型も煙害礦害炭礦住宅地設置による潰廢等がみのがせない障害になつてる

實業校卒檢定試驗

第二十四回實業學校卒業程度檢定は來月十一日から二十日まで平工業高校で行われる事になつた 此の種目は採礦、冶金、土木の三科で縣下からの受驗者が集るわけで今後同校で開かれるようになつたため地方の受驗者はそれだけ便利になつたわけで喜ばれている

知事あてに肥料を要望

小名濱日本水曹煙害對策協議會では去る二十二日付で縣知事あてに水稻被害面積約三百五十町分の肥料硫安一八三〇貫 過石一〇五九五貫配給の要望書を提出した

親思の加害者
川部實兄殺し詳報

【昨報】川部村三澤農富山平太郎（七二）五男廣部炭ゝら採炭夫德五郎（二六）が實兄魚商秀敏（四五）を刺殺した事件は二十九日夕刻平地裁から江尻檢事代理事務官、安藤判事、齋醫師等が急行實地檢證をなすとゝもに死体を解剖に附した、兇行は二十九日午前四時ごろ（二十八日は誤り）行われたもので、原因は去る十八年頃四番目の兄重友（三二）が妻秀子（三五）元勿來町料亭一力女中と親の反對を押切つて結婚したが最近 飲む打つの不身持から離婚話が起り秀敏と義弟石田春雄（二四）秀敏長男常雄（三）等が離婚に反對しているため常々實父と折合が惡く二十五日夜九時半ころ兄弟が集つて田畑約一反歩の收入の事から又も離婚話に燃え移り 重友は三番目の兄正三郎さん（三五）埼玉縣川口市が實父にあづけている二萬四千圓を離婚費用にと自分の家財道具全部かたにして實父から借りたところが、全夜秀敏等は重友の荷物を返してやれと强要 實父が布團だけは返してやつてもよいとの正三郎さんの手紙を見せよと秀敏はこれを奪取り爐にくべてしまつた上喘息氣味の實父を投げとばし半殺しの暴行を加えた、これをきいた親思いの德五郎は憤慨二十八日三度秀敏宅へ掛け合いにいつたが會へぬところから兄秀敏が親を虐待するのも四番目の兄重友が惡いからだと同人を棒でなぐりつけて歸宅した 今度はまた秀敏が怒り午前三時ころ酒を飲んだ勢で德五郎を出せと實父宅へ怒なり込んで來たので裏から逃げ出すと向うから重友と（甥重友、六男）留雄（二四）秀敏の長男常雄ゝ二男敏男（一八）の四名が來たので引返すと入口で秀敏と出合つてしまつたゝめ畠へ逃げ込むと秀としが後から組付いて來たのでこれを投げ倒し馬乗りとなり矢庭に腰に差していた双渡六寸位の切出しナイフで心臓部を一突に刺殺 あとからまた常雄とし雄の兩人にもそれ〲兩手に輕傷を負せたもの、なお德五郎には妻トヨ子さん（三二）との間に長女春江ちやん（一ツ）がある

賭博の開張中

錦町中田無職矢野キク（五八）仝工藤ミツ（四八）の兩人ほか十三名二十九日夜キク方で賭博開帳中を錦署に

常磐炭礦 出水不安一掃
新に北一斜坑掘進

常磐炭礦の第六坑北二斜坑右五片の出水は、三百立方尺を超える强壓なものだつた爲、一時六坑危しのデマまで飛んだほどであつたが優秀な技術陣の總動員に依つて數日ならずして完全に食い止め目下ポンプを集注、六坑の水量を同所に吸しう（四百立方尺）排水に當つているから六坑内の出水不安は一掃された形である 炭礦側は禍を轉じて福とするため北一斜坑の掘進に着手十月末頃には着炭を豫定されている

なお北二坑の出水に依り日產百トンの減產を來しているが現在の減產を樂にカバーされる豫定である

英語補導會夏季講習會

文學士鈴木傳三郎氏の主宰する英語補導會では中學三年程度を標準として實力養成を主眼として英語夏季講習會を平市南町平文化服裝學院で八月二日から十四日まで每日午前八時半から十時半まで開く教材はレフツ、ラーンイングリッシュ卷三

いわき寸言

▲人を玩べば德を喪い物を玩べば志を喪う、書經に恥ぢぬおエラ方がござるかナ
▲德は孤ならず必ず隣ありは昔 現在は德は孤なり 不德、ヤミ必ず隣ありと改訂か

民報論壇
行き過ぎを戒告す

個人の場合は穩健でも一度び團体とか集團の形態となると理性を失して感念の飛躍となり行動となり行き過ぎを來す傾向がわれ〲日本人にすくなくないのである 過ぐる滿洲事變で關東軍が滿洲をとつたらすつかりいゝ氣になつて戰爭を擴大し戰爭さへ起せばどく〲でもとれるような感念の飛躍をして無理な戰爭をして遂に今日の如くぺしやんこに押しつぶされたのである 斯うした傾向は終戰後の勞働運動に見られる、急速に組織された勞働組合は何處の國にも見られない程の强大なものとなつた結果感念の飛躍から獨善となりめしが食いないと云う理由が全國的にゼネスト流行で特に注目されたのが昨年の二一ゼネストであつた國民大衆の迷惑を省みず全官公勞組はこれを斷行せんとした矢先マツカーサー元帥から中止命令が出て救われたがその後性懲りもなく地域的ストが行はれさなきだに半病人の症狀を呈している日本がま痺狀況に陷入り復興途上に於ける一大障害となつた そこでマツカーサー元帥が最後に與えた斷は今度の首相宛書簡である 云う迄もなくこの書簡はその行き過ぎに對する一大鐵槌である、痛い鐵槌であるが日本の將來の爲めに必要なものであつた 思うに日本人は三千年來の鬪爭の歷史を通じて鬪爭を好む風習がある これは必ずしも惡いとは云えない、建設的方面にこの鬪爭心を振り向ければいゝ結果を生ずると思う この邊のカジの取り方が下手な爲めに徒らに破壞的方面に鬪爭力を發揮して來たが政府並に地方の指導者たちがくゝに充分注意して引きづつて行くようにすれば再建能率は急ピッチに上るのである 占領下にある國情を思い疲弊し切つた現狀を考えるとき行き過ぎの輕率を猛反省しじつくりと自制して誤りのない行き方をしなければ日本の再建事業は到底出來ないと思う （田原）

取引高稅の營業申告はおすみですか！

取引高稅法にいう營業には三十九種ありますが醫者辯護士、計理士など專ら自己の技術又は勞務によつて收入を得る自由業や不動產貸付等のみを業としている以外の營業者は法人（非營利法人には民法上の組合も含みます）個人を問はず營業所每に申告書を提出しなければなりません、營業所を有しない行商露店商の方でももちろん申告を要しますから御注意下さい、申告書用紙は市役所町村役場稅務署に備えてありますから御利用下さい 取引高稅營業申告書の提出期限は八月六日までですが、成るべくお早く御出し下さい なお右の申告書を期限まで提出しないときは取引高稅法第四十四條第二〇號の規定により五萬圓以下の罰金に處せられますから御注意下さい

平稅務署

待望の金座街夜店
愈々八月一日開店
◎一般出店歡迎電氣科其他一切不要◎
八月一日北辰妙見神社金座街記念祭擧行
夜店連絡事務所
上原時計店 電22

肖像畫の御註文は作家直接に限る何故か？
外交員からの御註文は作家に責任がなくそれ故に良心的な作品が出來ない
我等作家は進んだ揮毫方で金の慾より揮毫慾に接して居る事を御理解下さい
菊水肖像畫院
平市五・四 電九八九番

開店お知らせ
賣つて喜び 買つて喜ぶの主義で
ラジオ、電蓄專門に開店
木田無線電業所
市內南町七一（平館前）

妻キク子儀永らく病氣療養中の處二十九日午前九時死去致しました。生前の御好誼を謝し紙上を以て御通知申上げます
尙葬儀は三十一日午後二時自宅出棺大寶寺に於て告別式を行います
昭和二十三年七月三十日
平市才槌小路一番地
喪主 猪狩一郎
猪狩仁三郎
親戚 猪狩四郎
總代 佐藤德太郎

齒科一般
石島齒科醫院
院長 石島公德
平驛前（白銀通り）

夏の郡南史蹟めぐり ②

史談會員 鈴木光四郎

枕の草紙と名古曾の關

清少納言の書いた枕の草紙には次のような語がある。

「よしなよしなの關こそ、いかに思ひ返したなるらんいとしらまほしけれ、それを、なこその關といふにや」

清少納言は一條天皇の皇后藤原定子に仕え、今から九百五十年前頃の人である。この語を意譯してみると、この頃はなこその關を越えることはエゾ地に近いので危險であるとの意味が加はつて自然に万葉假名の『名古曾』から『來る勿れ』の意味を含めた勿來の固有名詞が生れたのではあるまいか。卽ち平安時代の末期になつて現在の勿來の地名のきざしが起つて來たのではないかと思われるのである。

盆も近くなつて來たのであるが盆踊りの歌に次のような文句があるがこの意味を歌つているように思はれてならない。

「來るな來るなの、なこそを越えて
盆にや來てみよ、平まで」

八幡太郎義家となこその關

後冷泉天皇の永承の頃（九百年前）に前九年の役が起り源頼義、義家は朝命を奉じて奧州に足を入れたのは永承六年の七月頃といはれ更に京師に歸任したのは康平六年正月と記されていて春の季節ではない。

後三年の役が起り白河天皇の永保三年（八百六十年前）の八月に再び奧州に向ひ堀河天皇の寛治六年（八百五十六年前）の三月に義家は歸路している點から見て、この年に勿來關を通過したのではないかといはれている。

吹く風をなこその關と思へども
道もせにちる山櫻かな

と詠つたことはあまねく人口に膾炙して居り石城地方が日本の歴史に燦然と輝き始めたのである。戰に勝つて喜びのうちに都への歸途に眺めた山櫻の美しさは又格別であつたと思はれるのである。

勿來の關の廢れたる頃

平藩の儒者鍋田三善の說によれば『勿來の關の廢れし年代文獻の徵すべきなし、古歌によつて考るに白河の關は文治の頃（七百六十年前）はや廢れたるべし、名古曾の關も同じ頃ならん』とあることにみると勿來の關は中氏滅亡の頃、平市の飯野八幡神社が勧請された頃に廢れて名のみ殘るようになつたのではないかと思はれるのである。

文獻に殘る勿來の關の歌

みるめかく海士の行方のなみと路に
なこその關もわれするなくに（小野小町）

惜めどもとまりもあへず行く春は
なこその山のせきもとどめず（紀貫之）

勿來關の古碑文

現今關跡に殘る碑文について其の主なるものを年代順に書いてみると

吹く風を勿來の關と思へども
道もせに散る山櫻かな

千載集に撰びいれられし此の義家朝臣の金玉を石ふみに殘す、都似手に以て我腰詠をもとねもころに乞ふをいなみかたくてなむ

文政五年（百二十六年前）二月しるす
正四位下 加茂縣主季鷹

常奧境稱勿來山けし櫻華弄春晴、將軍義家射版賦、千里頭公方東征、途過此關暮春日、落花飄風舞縱橫、將軍按ら詠歌爾來騷客訪迂多星霜し今殆八百、名存物換少人過素英洞月惆悵みん倶謀錄石樹山坂、事未及世卽世原孫織志更託無、尹碑琢雖季應阜、但呉錄歌記金疏、需余背面誌顛末、風流驚学耐嘉譽、陳迂從ひ煙沒、此石傳世詞有餘、正是人物相須著、永貽無窮名不虛

幕永辛刻（四年、九十七年前）仲春
七拾四翁 磯井密併書

以上二つの碑文を書いたが加茂季鷹、磯井密併については詳かでない

夏枯どころか 忙しい小名濱商港

標準F型船（五百トン級）による常磐炭の海上輸送計畫は小名濱港の荷役設備が不完全なため關係者からその効果を危ぶまれていたが去る三月日邦丸によつて第一便を送り出して以來毎月F型隻を目標に粉炭の積出作業を繼續しているが特に最近は夏枯れをふき飛し既に五隻二千七百五十トンの積出しを完了、更に一兩日中に入港する船を加えると計六隻となり積出數量も更に七百トン増加すると云う記錄を樹立し貧弱な荷役設備ながら夏の商港小名濱はやかましいグレーンの雜音に暑さも忘れてます／＼好調を辿り重要性を加えて來たーるならば同港の前途もます／＼有望化して來た

近く北洋丸入港 機帆船群の利用も大

今七月に入つてから積出したF型船は前記の如く日邦丸、淺間丸、雲仙丸、霧島丸、淺間丸の五隻二千七百五十トンで一兩日中にはコークスを積んで北洋丸も入港し粉炭七百十トンを積んでまた出港することになつている、この積出先は何れも名古屋地區で當初の豫定から見ると今月は二隻約千二百トンも余計に積んで逆にハマの夏枯れを克服している計算になる

またこの貨物船と併行し『海のトラック』として戰後の沿岸航路の花形百トン乃至二百トン級の機帆船群による同港の利用も依然大きい、二十八日現在で入港した機帆船は二十九隻 この大半は日本水素のメタノール原料としてのコークスを鶴見、大森方面から運んでおり更に縣內向け輸入鹽を横須賀地區より積んで入つたもの三隻 東京から郡山市日本化學工場へ運ぶ抗火石の試運送した一隻も含れている

沈船浮上作業 着々進工 F型船二隻の接岸作業可能

一方小名濱港務所の手で從來放置されていた三千トン岸壁先にあつた沈船の浮上工事も着々進んでおり今月中にはこれもすつかり取除かれる見透しもついたので今後はF型船も二隻同時接岸が可能となり同港の利用も一段と飛躍したわけで急速な荷役設備の充實を期す

準備全く成つた 金座街夜店 妙見記念祭執行

明るい街を建設しようと田町銀座街に對抗し金座街と銘打つて發足した平驛前白銀町通りではいよ／＼八月一日から夜店も開くので地元北辰妙見神社で記念祭をも執行する當日は少年樽神としも出ることとて非常な人氣を呼んでいる、なお夜店申込者既に二十名からに達しているので盛況を豫想されているが更に驛前にはアーチも出來上つた

靴と運動具の店
何品でも豐富に揃つて居ます
野球チーム御編成の節は御相談下さい
平市紺町三田小路（住宅營團トナリ）
正確の店大塚運動具店
電話77

カツオ群北上 漁場は金華山沖へ

一時豐間町の約百カイリ沖合にカツオの大群が游泳し これを追う三重縣方面のカツオ船が二、三十隻も集つて見事な漁獲戰を演じ一方本縣のカツオ船は地元の好漁場を顧みず幾分北へ行過ぎの形にあつたがその後沖合からの入電に依ればくの大群も刻々北へ移動し現在の好漁場は金華山沖とされいく分沖合へ寄つて行く傾向を示しておりこのため本縣のカツオ船群が航行中の海域がいまカツオを乘せた黑潮の丁度眞中にあるわけでいよ／＼カツオの漁場も本縣沖から隣の宮城縣へと移行した形となつた 第四航海中のなお縣指導船共盛丸氣仙沼二百マイル沖合を航行中で これも近く歸港する豫定なので同船が歸れば漁場調査によるカツオ群の動きがなお一層明確になるわけで期待されている

丸公市場の對策 宮城縣から移入

カツオ群がどん／＼北へ移動しているため今後のカツオ漁には地元の各濱は大した期待が持てぬ狀態にあり今までの水揚振りを見てもせい／＼二、三千貫から多くて五千貫程度であり縣外移出や縣內各地向け發送とにらみ合せると郡內の消費量には自然制限される現狀にありましてや漁場が本縣を通過したとするならば今後ます／＼カツオから縁遠くなつて仕舞うので平市丸公魚市場では宮城縣からの移入による配給を計畫猛烈に運動中だつたがこの結果、七月中に四千八百十二貫（三車）の割當ワクを獲得し の分だけのカツオは土用中に既に入荷したので配給を完了 さらに八月にはもつと多く地方民へ魚を贈ろうと宮城縣からの割當增加につき縣水產課へ陳情中であり、當分は宮城縣からの入荷を大いに期待する形となつた

暫く辛抱を 丸公市場の談

右について丸公市場では語る

ここ當分はカツオに依存して行かねばならない狀況にあるが殘念ながら地元からの入荷には大して期待出來ない このため特に宮城縣からの移入によつて魚の配給を實施しなければならぬので中には量が尠ないと云つて不滿に思う人もあると思うが辛棒して欲しい、八月の割當量は宮城縣の水揚狀況の豫想によつて出荷計畫が樹てられるのではつきりした事は云えぬが七月よりは余計入荷すべく運動中である

三井百貨店へ
小野琥山作 花瓶
白無地 洋食器
大特賣
御贈答用品全店豐富に取揃へて御座います

TS研究所結成 試作擴聲器の利用を大歡迎

アマチュア無線家で結成 事務所を平市田町に置くTS研究所では會員の經驗を基礎として擴聲機の試作中との程出來あがつたので、每日曜と祝祭日の夜間のみ一般の利用に委ねることゝなつた 費用は交通費のほかは無料で奉仕するので 大いに講演會、演藝會 スポーツ等に利用されたいとのこと なお將來は平日も營業的利用出來るようにする計畫となつている

坑夫二名重傷 ダイナマイトで魚取り中に

二十九日午前十前頃赤井村大字西小川日曹福島炭礦坑夫佐藤島記(二八)は同僚機械係橋本敏男さん(二三)坑夫鈴木吉敎さん(二五)を誘い小玉川發電所上流附近で隠していたダイナマイトで魚取り中過つて佐藤は左手首切斷及腹部その他に又橋本は左大腿部及右膝關部裂傷の二人とも瀕死の重傷を負つた、鈴木さんは佐藤がダイナマイトを持つているのを知り離れていた爲無事であつた

需用最盛期に入り 氷不足深刻化

氷の最盛需用期に入つて來たがいまゝで一日五、六千貫流れていたものが二十八日來急減し氷賣店等も一日千貫程度が四百貫見當に制限された このかたわら四倉縣水產組合や勿來製氷の故障による生產減が大きく響いている 然し病人用はどこまでも確保せねばならぬとあり 平製氷では既報の如くに會社前に直販所を設けいつでも便をはかることゝなつているが今年のお盆はちよつと氷不足がたれようとみられている

サツカリン原料泥御用

太野村戸田宇稲荷作農宮本浩(三)平市下平窪吉野榮作(二四)ほか三名は共謀で本春四月來前後二回にわたり錦町呉羽化學工場倉庫からサッカリン原料ーアミトー約四十八ポンド時價三十萬圓を盗んで全町內でバラしていた事發覺 二十九日錦署に檢擧

四郎君溺死

錦町江栗字花の井役場書記[illegible]猛夫さん四男小學校三年生四郎君(一〇)は二十七午後二時半ごろ企町鮫川下流で水泳中溺死 なお今期に入つて鮫川の犠牲は早くも三名を出している

水銀泥三人組

錦町中田字落合ブリキ職五十嵐英次(二四)土工鴻の巣充雄(二三)仝鈴木恭雄(二〇)の三名は去る六月中前後數回にわたつて仝町呉羽化學工場倉庫から水銀二十六貫過燐酸三十貫ソーダ灰三十四貫の計七萬圓相當を盗み東京方面に流していたが、二十七日錦署に檢擧二十九日送檢された

カメラ
高價買入
平市三丁目本通
タナカ
電五七六

香料と色素入荷
アイスキャンデー、氷水用
目下大賣出し
東京北國屋商店平出張所
東京屋
平驛前大通いわき民報隣

盆提灯の御注文は
御代提灯店
湯本町表町局郵電話一七四

高級飲料トキワサイダー製造元
四倉町 電一四
麴屋商店
新妻常吉

計算器販賣修理
英文タイプライター
邦文タイプライター
タイピスト養成所
榮タイプライター商會
平市田町五五電二〇四番

所得税の申告期日 本年は七月末日限り

本年の所得税四月予定申告の申告期限は本月末日限りとなつたが當局では早目に申告を濟ませるよう要望している。これは今回の税法改正で基礎、扶除、扶養控除等の引き上げ税率の引き下げ等で税負擔は輕減されるが所得は一般に增加していること、前年度には年度末に納税が重り、又申告の不完全のため更生決定を受けて相當混亂した經驗かけであるな本年は特に勵行して納税者の負擔を適正にしようといふわけであるなお事業等所得者で年見積所得一萬三百二十五円を超える場合は洩れなく正當な申告をすることになる。

昭和二十三年分所得税

第一期予定申告 七月一日の現況で見積つた一年間の所得が一萬三百二十五圓を超える方は、所得金額と税額を申告して下さい。

第一期分納税 予定納税額の三分の一を納付書をそえて郵便局、銀行へ納付して下さい

◇…期日は七月三十一日まで

仙臺財務局
平税務署

キモノと洋服……買入販賣
福屋
（平驛下車左通り角から五軒目）
平市シロガネ町

各種ミシンの販賣と修理
平和通り
三浦商會ミシン部
電八六四番